

授業科目名 (英文名)	保健体育科指導法 (Teaching Methods of Physical Education)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	3年次・前期
担当教員	青木 敦英	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>本講義では保健体育科教育法 を基に、「授業づくり」、「指導案づくり」についての基礎を概説し、実践授業（模擬授業）を行い、保健体育教師としての力量（指導力）を高めることを目的とする。</p> <p>本講義の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学習指導要領における保健体育の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 2) 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 3) 保健体育の学習評価の考え方を理解している。 4) 保健体育と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 5) 発展的な学習内容について探求し、学習指導への位置付けを考察することができる。 6) 子どもの認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 7) 保健体育の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。 8) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。 9) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。 10) 保健体育における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。 		
講義内容・授業計画	<p>中学校および高等学校における保健体育科の教員にとって、教科に関する知識や、指導法を学ぶことは必須である。本講義では、実際の指導から見えてくる問題点を模擬授業から探り、体育の実践的指導法について解説するものである。</p> <p>第1回：ガイダンス...本講義の目的、内容、評価方法について</p> <p>第2回：保健体育における子どもの認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性について</p> <p>第3回：保健体育の授業づくりにおける工夫について解説</p> <p>第4回：授業計画作成のための情報機器と教材の活用方法について</p> <p>第5回：模擬授業 ...体づくり運動の指導および実技</p> <p>第6回：模擬授業 ...器械運動（マット運動）の指導および実技</p> <p>第7回：模擬授業 ...器械運動（鉄棒運動）の指導および実技</p> <p>第8回：模擬授業 ...器械運動（跳び箱運動）の指導および実技</p> <p>第9回：模擬授業 ...陸上競技（短距離走・リレー）の指導および実技</p> <p>第10回：模擬授業 ...陸上競技（ハードル走）の指導および実技</p> <p>第11回：中間評価...模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付ける</p> <p>第12回：模擬授業 ...球技の指導および実技（発展的な学習指導案の作成と振り返り）</p> <p>第13回：模擬授業 ...球技の指導および実技（学習指導案の構成を理解する）</p> <p>第14回：模擬授業 ...球技の指導および実技（具体的な授業を想定して授業設計を行う）</p> <p>第15回：保健体育における実践研究の動向を知り、授業設計の向上について解説 定期試験</p>		
テキスト	<p>中学校学習指導要領解説 保健体育編 文部科学省 東山書房 高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編 文部科学省 東山書房</p>		
参考文献	<p>新学習指導要領による中学校体育の授業 上・下巻 大修館書店 新学習指導要領による高等学校体育の授業 上・下巻 大修館書店</p>		

成績評価の基準・方法	成績評価の基準 指導の問題点を理解し、体育の実践的指導ができる者に単位を授与する。 到達目標の到達度に応じてSからCまでの成績を与える。 模擬授業30%、学習指導案30%、レポート30%、受講態度10%をもとに総合的に評価する。
履修上の注意・履修要件	別途、連絡することがある場合があるので、掲示や大学アドレスへのメール連絡などに注意すること
実践的教育	該当しない
備考	